

奈良県手話言語条例 (平成29年4月1日施行)

どんな社会を目指すの？

ろう者の人権が尊重され、ろう者とろう者以外の人がお互いを理解し、尊重しあうことができる社会の実現を目指します。

県では、啓発イベントや手話講習会の開催、手話ハンドブックの作成など、手話に触れていただく機会を提供しています。また、県議会や知事定例記者会見などに手話通訳者を配置し、手話を用いた情報発信をしています。



県民の皆さんへのお願い

- 手話がろう者の情報取得や意思疎通の手段などとして、必要な言語であることを理解しましょう。
- 手話の普及や使いやすい環境づくりにご協力をお願いします。

手話 物の名称、抽象的な概念を手や指の動き、表情などを使って、視覚的に表現する言語のこと

ろう者 聴覚に障害のある人のうち、主に手話でコミュニケーションをとって日常生活を送る人

まほろば「あいサポート運動」



障害を知り、共に生きる
～まず、知ることからはじめましょう～

どんな運動なの？

多様な障害の特性や障害のある人が困っていること、必要な配慮などを理解し、障害のある人に対してちょっとした手助けや配慮を実践し、障害のある人が暮らしやすい地域社会(共生社会)を皆さんとともに作る運動です。

体験型あいサポーター研修のお知らせ

聴覚障害のある人を講師に迎え、手話、口話や筆談など、聴覚障害のある人が困っている時のサポート方法を学びます。

定員20人(先着)。

時 11月15日(火)

所 県文化会館

申し込みはこちら▶



手話は大切な言語

—聞こえない・聞こえにくい子どもたちの学び舎—

vol.2



聴覚障害のある子どもたちが通う特別支援学校を知っていますか？

大和郡山市にある「奈良県立ろう学校」ですね。



そうです。幼稚部、小学部、中学部、高等部が設置され、0歳からの早期教育相談も行っています。県内唯一の聴覚障害特別支援学校です。

小さい子どもも通えるのですね。ろう学校ではどんなことを学んでいるのですか？



ろう学校では、地域の小・中学校や高等学校と同じ内容の教育を手話で受け、自らの障害についても学びます。子どもの頃からろう者同士の交わりの中で自然に手話を身に付けることができる環境が整い、通っている子どもたちはいきいきと学んでいます。



学校



両手掌を手前に向け、斜めに立てて並べて置く

友達



両手掌を合わせて握る

学ぶ



両手掌を手前に向け、斜めに立てて並べて置き、軽く前後する

動画を見てやってみよう▼



出典：(一財)全日本ろうあ連盟発行「わたしたちの手話学習辞典」